

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
日本の文化	講義	2	片山 雅男

**【授業のテーマ及び到達目標】**

日本の文化の特徴を理解し、豊かな品性を身につける。

日本の文化の起源と特徴を理解したうえで、日常生活に見られる日本の文化についての由来や意味を習得する。また、日本の文化のもつ精神的な意義についても理解を深める。

**【授業の概要】**

映像を交えた講義を中心に学ぶ。明治以降、日本人は西洋の合理的な生活様式を取り入れることを目標としてきた。その結果、一見豊かに見える衣食住を手に入れたが、一方で、先祖たちが築き上げてきた日本の伝統文化や精神世界を急速に失いつつある。この講義では、日本の伝統文化の中から代表的なものを取り上げ、その由来や具体的内容を学ぶとともに、その背景にある日本的なものの考え方を身につける。あわせて、それらを日常生活に生かすことも考える。

**【全体の授業計画・内容】**

講義の進行上、講義順・内容の一部が変更されることもある。

1. はじめに
2. 日本の文化の起源      日本人はどこからやってきたのだろう？
3. 日本の文化の特徴      梅とさくら。日本らしいものとは何だろう？
4. 年中行事アラカルト（1） 桃の節句と端午の節句
5. 年中行事アラカルト（2） 七夕と重陽の節句
6. 年中行事アラカルト（3） 正月と歳徳神
7. 年中行事アラカルト（4） 盆と御精霊さん
8. 暮らしの中の風水（1） 気概念と四神相応の地。
9. 暮らしの中の風水（2） 干支と陰陽五行。相性占いは当たるのか？
10. 和菓子の楽しみ（1） 和菓子の起源
11. 和菓子の楽しみ（2） 和菓子のいろいろ
12. お茶をたしなむ（1） 茶と喫茶のルーツ
13. お茶をたしなむ（2） 茶道の文化
14. 日本の祭                  祭りとは。季節と祭り。祭りのいろいろ
15. 試験およびまとめ

**【準備学習の内容】**

予習のあり方：各内容に関して、関心を持ち、自らの経験を確認しておく。

学習のあり方：日常生活の中で関係するものがないか考えながら授業を受ける。

復習のあり方：プリントで内容について再確認するとともに、疑問点の有無を確認し、あれば次回質問する。

**【成績評価】**

筆記試験(60%)、提出物(20%)、受講態度(20%)により評価する。

**【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】**

試験に対して、後日、コメントを記入したものを配布する。

**【テキスト】**

テキストは使用しない。適宜プリントを配布する。

**【参考文献】**

講義の中で紹介する。